
一般国道4号 栃木県やいたし矢板市～なすしおぼらし那須塩原市間
地域の意見聴取（第2回）
— クロス集計結果 —

平成28年5月31日 関東地方整備局

参考資料 目次

参考1. クロス集計結果【住民等】

住民等 属性（地域別）	．．． 3
住民等 属性（年齢別）	．．． 4
住民等 属性（職業別）	．．． 5
住民等 利用頻度／手段／目的（年齢別）	．．． 6
住民等 利用頻度／目的（手段別／目的別）	．．． 7
住民等 ルートを選ぶ際に重視すべき事項（年齢別／頻度別／手段別／目的別）	．．． 8
住民等 妥当性（手段別／目的別）	．．． 9
住民等 妥当性（地域別／年齢別／利用頻度別）	．．． 10
住民等 ルートを選ぶ際に重視すべき事項（地域別）	．．． 11
住民等 ルートを選ぶ際に重視すべき事項（年齢別）	．．． 12
住民等 ルートを選ぶ際に重視すべき事項（利用頻度別）	．．． 13
住民等 ルートを選ぶ際に重視すべき事項（移動手段別）	．．． 14
住民等 ルートを選ぶ際に重視すべき事項（目的別）	．．． 15
住民等 ルートを選ぶ際に重視すべき事項（妥当性別）	．．． 16

参考2. クロス集計結果【関係団体】

関係団体 利用頻度／利用目的／妥当性／第1回地域意見聴取結果（業種別）	．．． 18
関係団体 妥当性（利用頻度別／利用目的別／第1回地域意見聴取結果別）	．．． 19

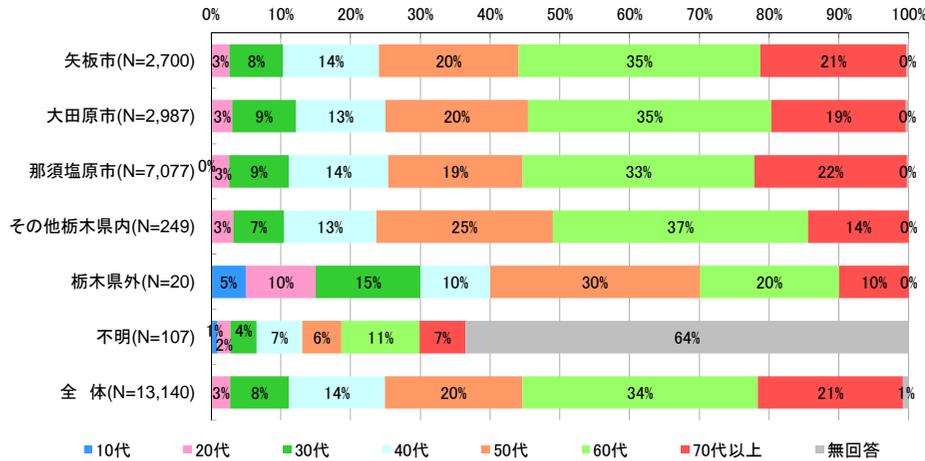
参考1. クロス集計結果【住民等】

※留置き、Webを含む

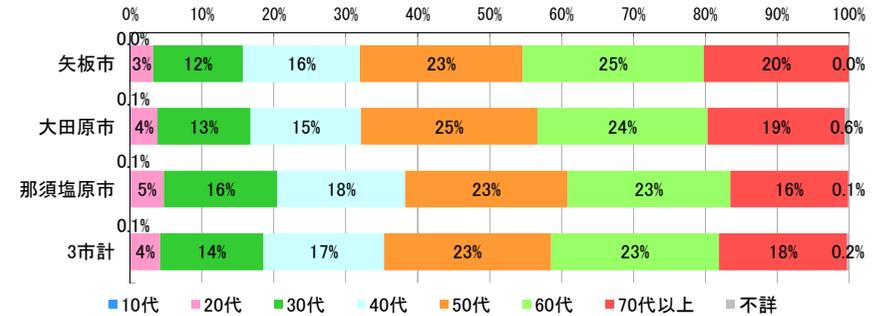
住民等 属性(地域別)

- ◆ 地域別年齢では、矢板市、大田原市、那須塩原市はその他の栃木県内の市に比べて「60代／70代以上」の回答が多い。
- ◆ 地域別職業では、矢板市、大田原市、那須塩原市、その他の栃木県内の市で大きな傾向の違いはない。
- ◆ 地域別性別では、矢板市、大田原市、那須塩原市はその他の栃木県内の市に比べて「女性」の割合が高い。

【地域別年齢】

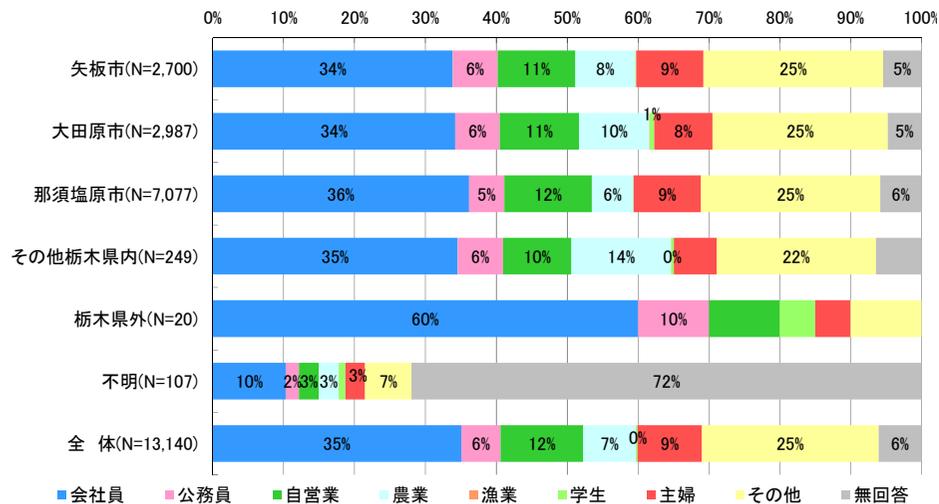


【参考：市別世帯主年齢】

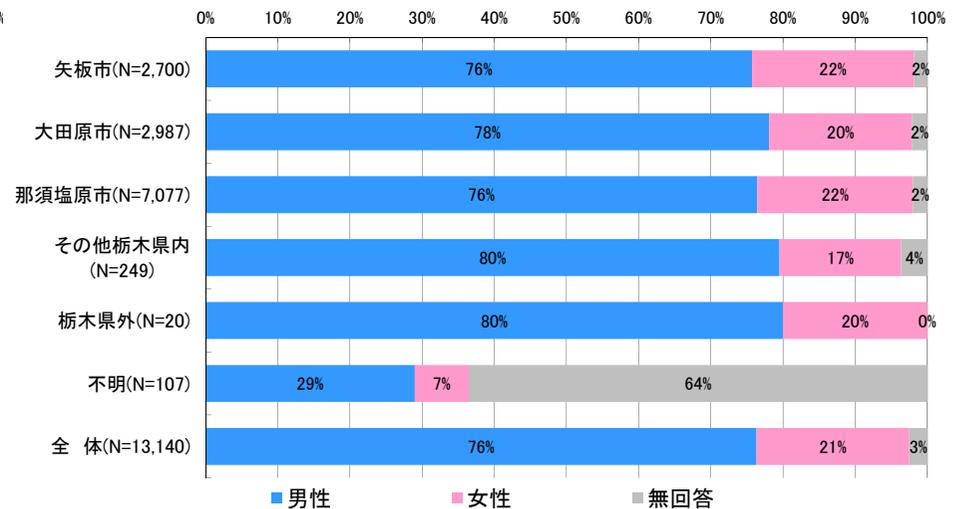


資料：平成22年国勢調査

【地域別職業】



【地域別性別】

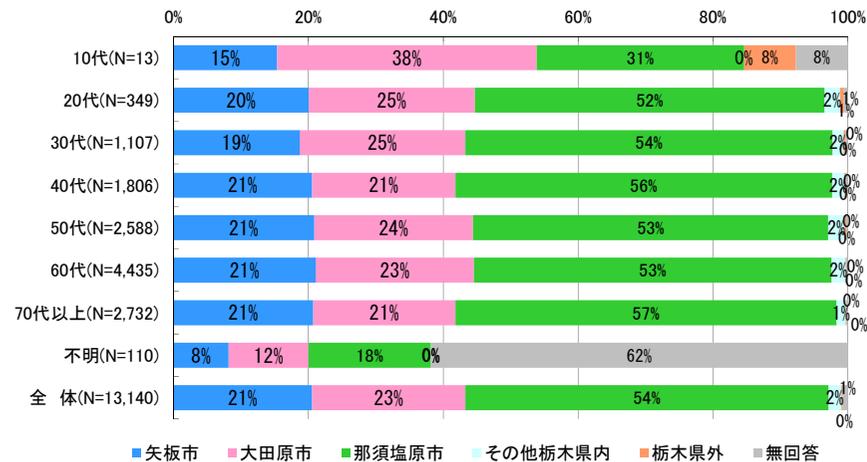


※Nは各項目の回答者数。割合は各項目の総回答数に占める割合。

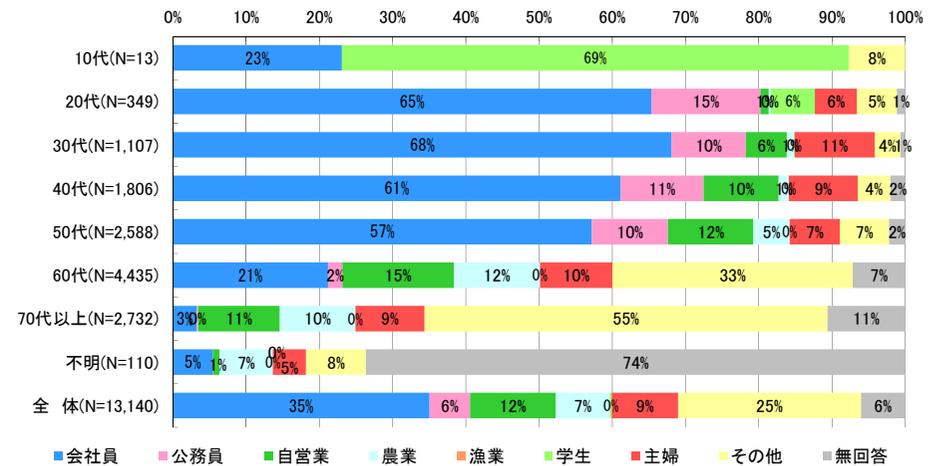
住民等 属性(年齢別)

- ◆ 年齢別地域では、大田原市で10代～30代の回答が比較的高い。
- ◆ 年齢別職業では20代～50代は会社・公務員、60代、70代はその他の割合がそれぞれに高い。
- ◆ 年齢別性別では、若年の回答者ほど女性の割合が高い傾向にある。

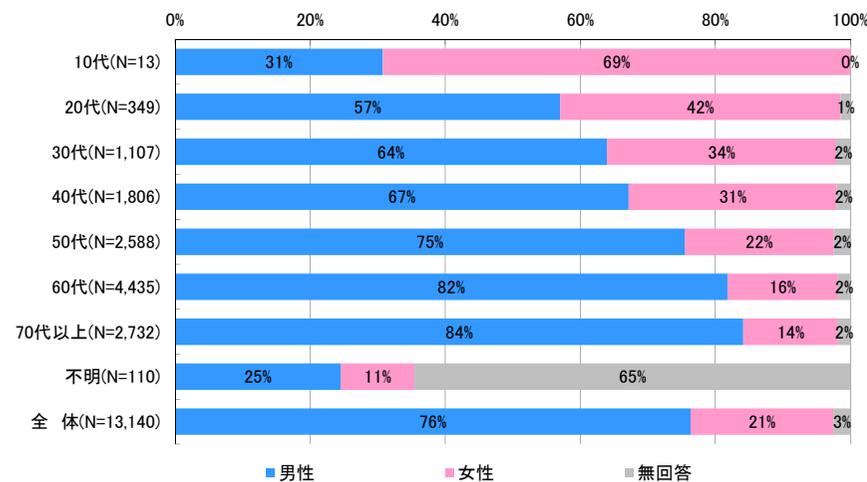
【年齢別地域】



【年齢別職業】



【年齢別性別】

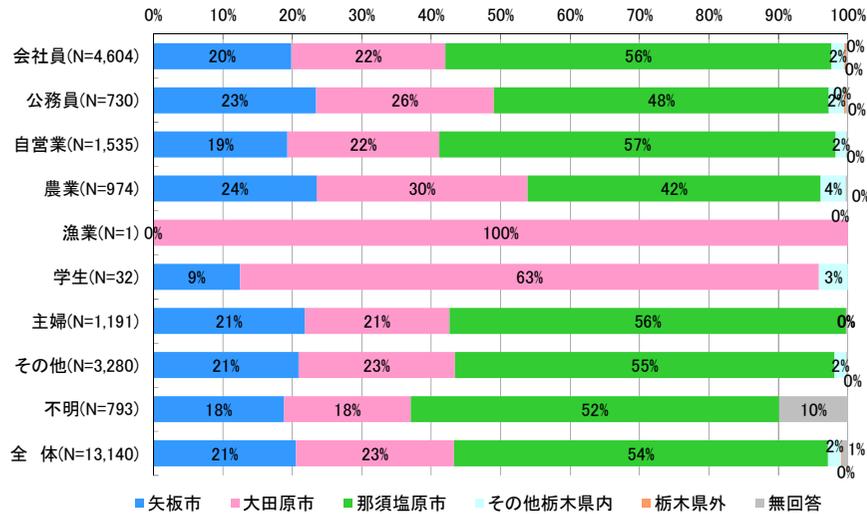


※Nは各項目の回答者数。割合は各項目の総回答数に占める割合。

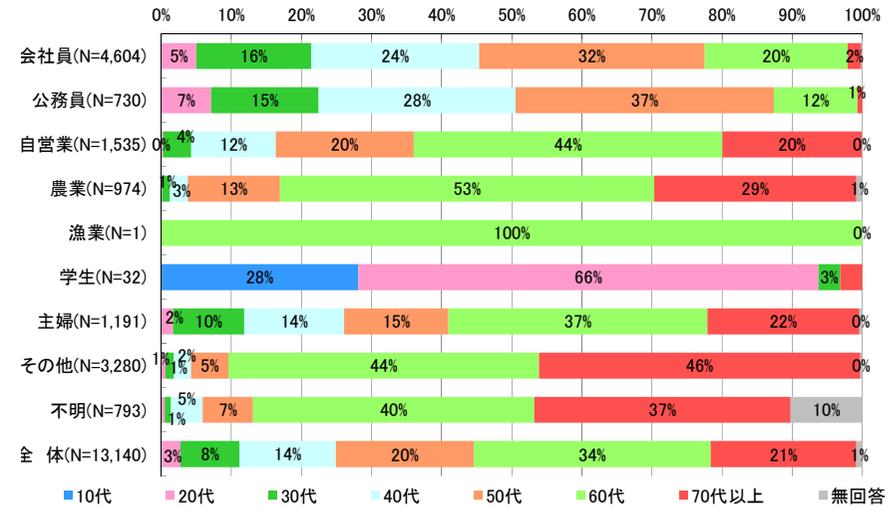
住民等 属性(職業別)

- ◆ 職業別地域では、農業における大田原市の割合が比較的高い。
- ◆ 職業別年齢では、自営業、農業における60代以上の割合が高い。
- ◆ 職業別性別では、農業における男性の割合が高い傾向にある。

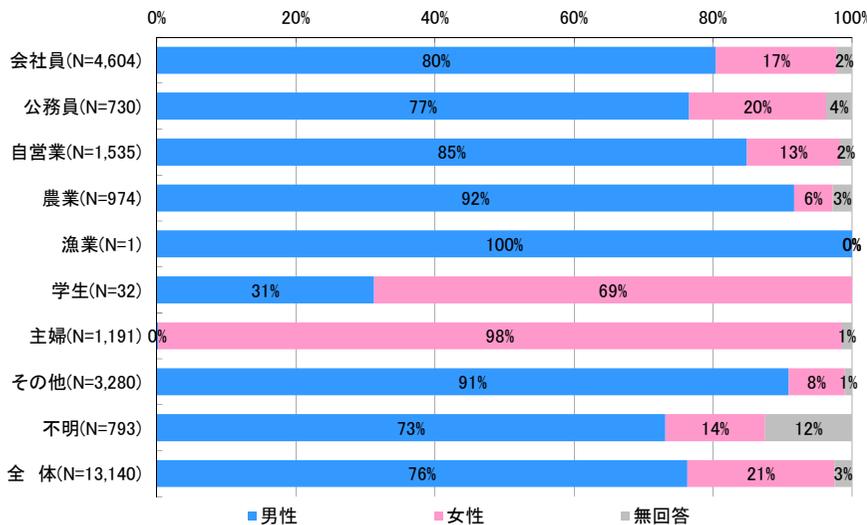
【職業別地域】



【職業別年齢】



【職業別性別】

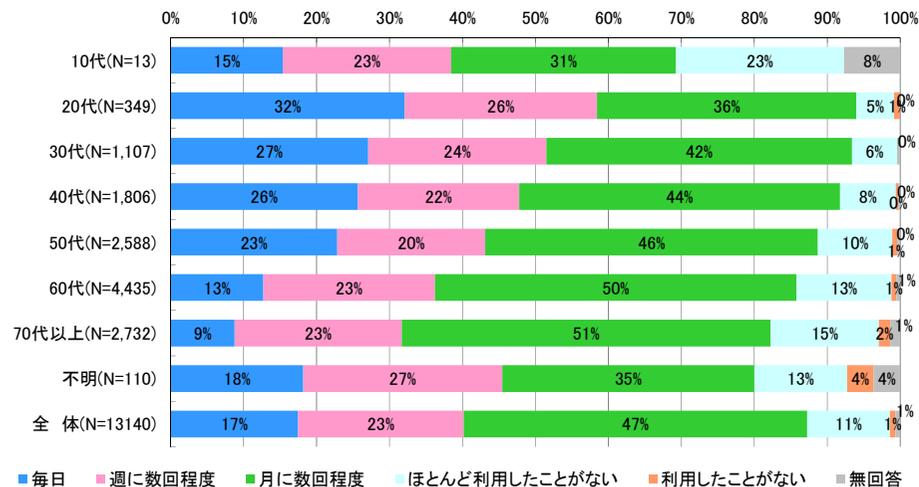


※Nは各項目の回答者数。割合は各項目の総回答数に占める割合。

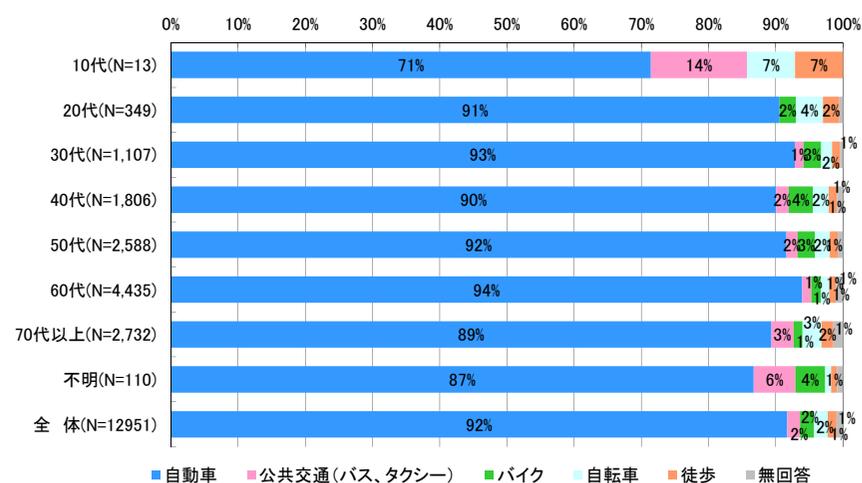
住民等 利用頻度／手段／目的(年齢別)

- ◆ 年齢別利用頻度では、20代～50代の利用頻度が比較的高い。
- ◆ 年齢別移動手段では、10代～70代以上の年代で自動車の割合が最も高い。
- ◆ 年齢別利用目的では、10代～40代で通勤・通学の割合が高い傾向。60代以上では私用の割合が若い年代に比べて高い。

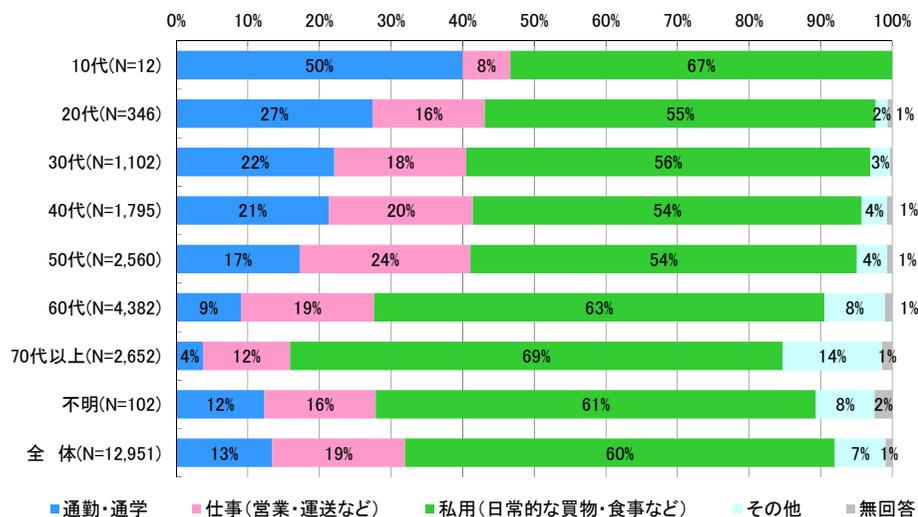
【年齢別利用頻度】



【年齢別移動手段】



【年齢別利用目的】

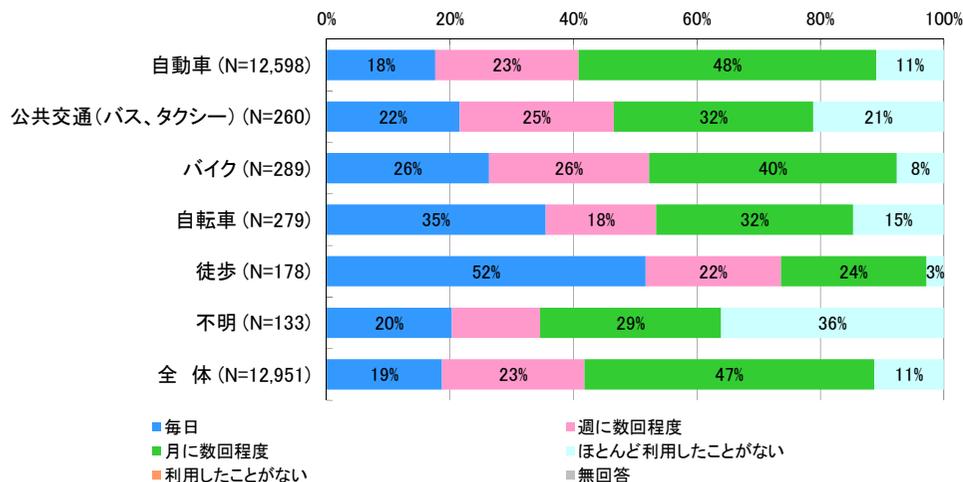


※Nは各項目の回答者数。割合は各項目の総回答数に占める割合。

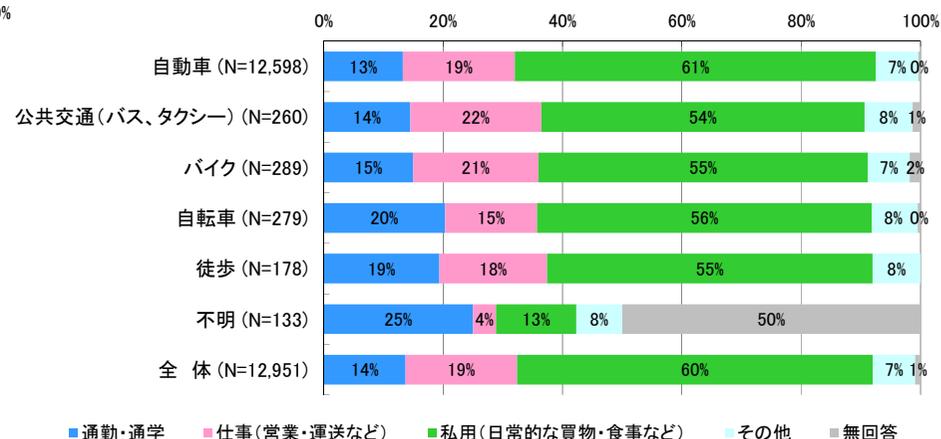
住民等 利用頻度／目的(手段別／目的別)

- ◆ 移動手段別利用頻度では、自動車/公共交通/バイクの利用頻度は、自転車・徒歩に比べると低い。
- ◆ 移動手段別利用目的では、どの利用目的でも利用手段に大きな違いはみられない。
- ◆ 利用目的別利用頻度では、通勤・通学での利用頻度が最も高く、次に仕事(営業・運送など)での利用頻度が高い。

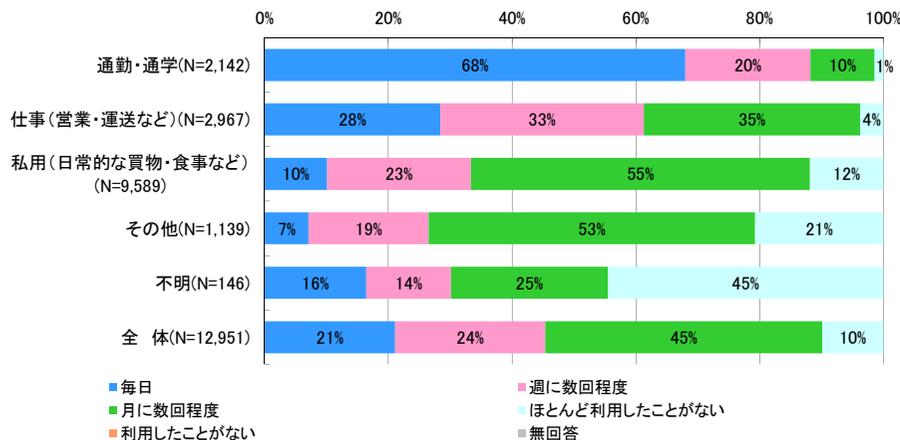
【移動手段別利用頻度】



【移動手段別利用目的】



【利用目的別利用頻度】

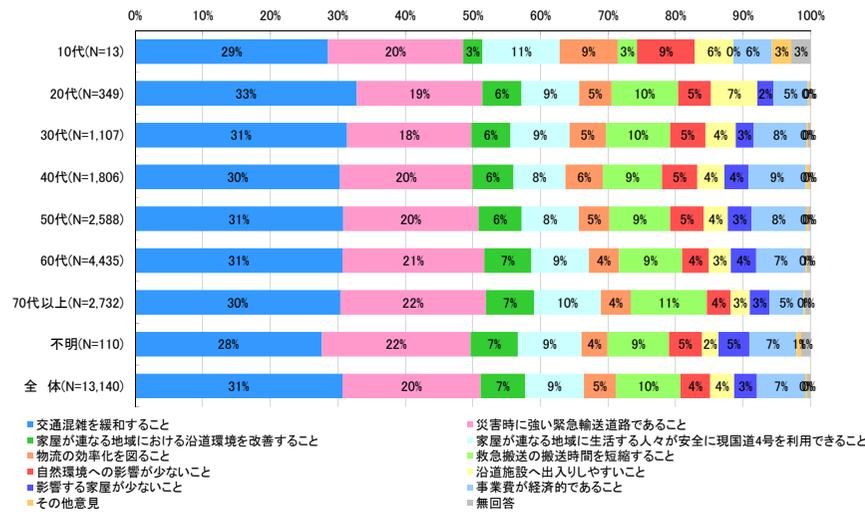


※Nは各項目の回答者数。割合は各項目の総回答数に占める割合。

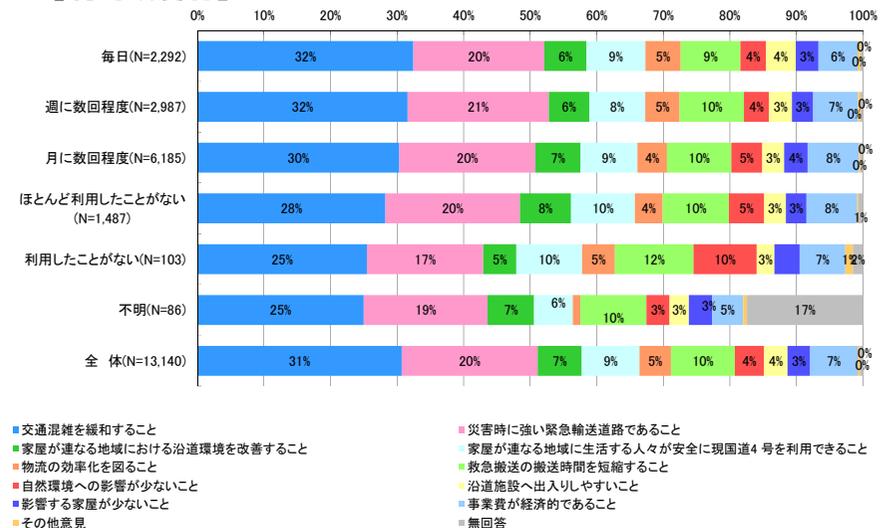
住民等 ルートを選ぶ際に重視すべき事項(年齢別／頻度別／手段別／目的別) 8

- ◆年齢別課題では、どの年代でも「混雑緩和」の割合が高い。「災害時の緊急輸送道路」が20代で比較的低い傾向にある。
- ◆利用頻度別課題では、利用頻度が高いほど「混雑緩和」を重視する傾向にある。
- ◆移動手段別課題では、自転車利用者、徒歩利用者で「安全性」を重視する傾向にある。
- ◆利用目的別では、各目的で回答傾向に大きな違いはみられない。

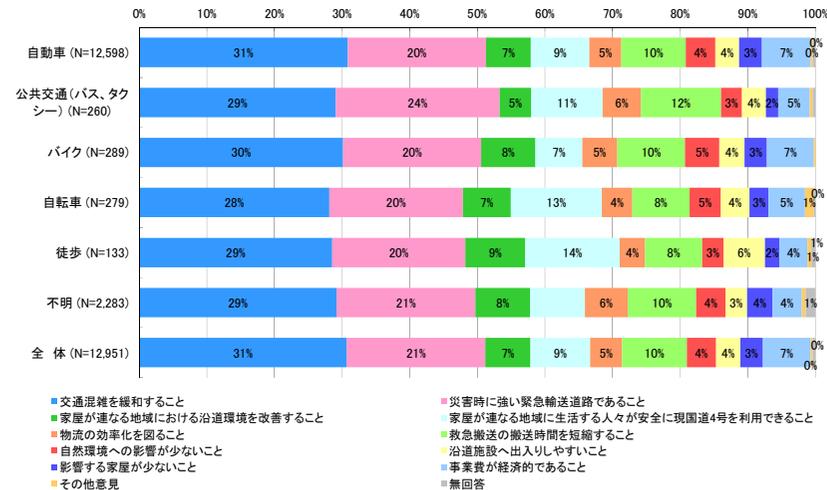
【年齢別】



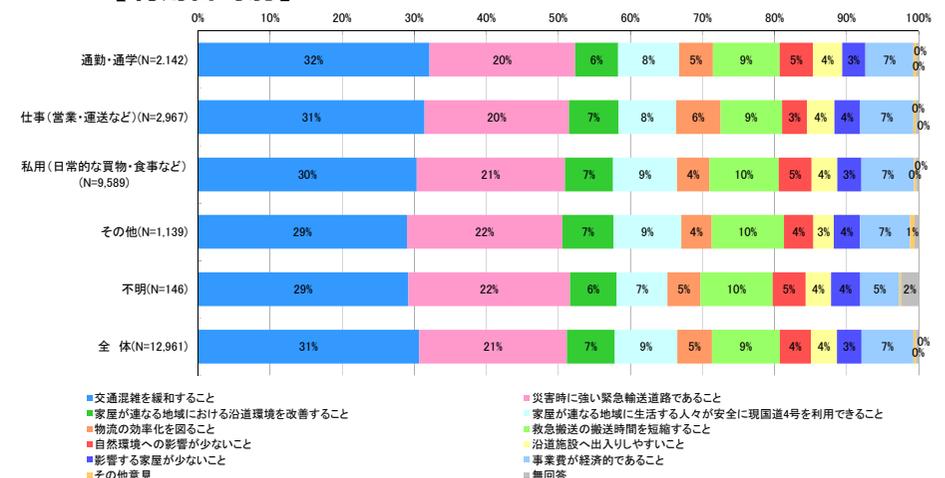
【利用頻度別】



【移動手段別】



【利用目的別】

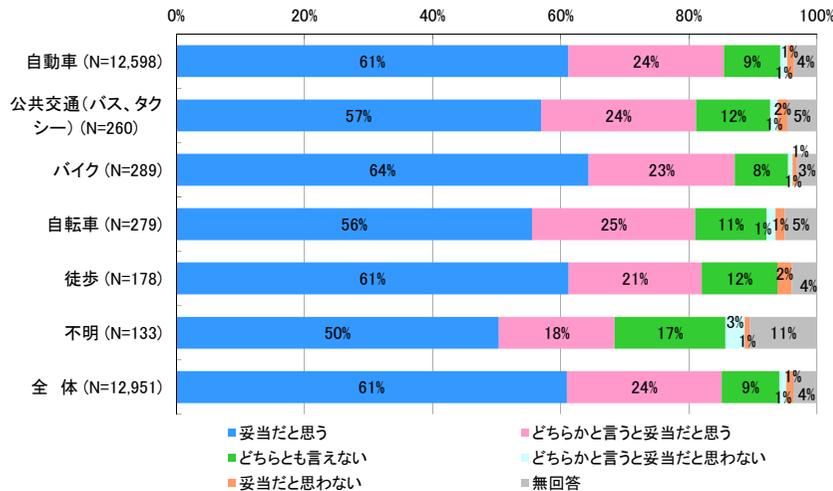


※Nは各項目の回答者数。割合は各項目の総回答数に占める割合。

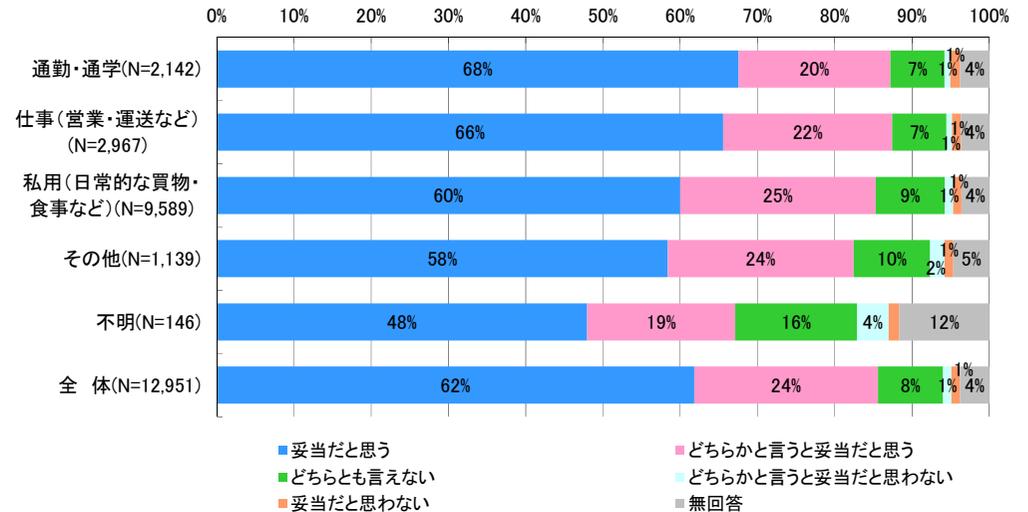
住民等 結果の妥当性(手段別／目的別)

- ◆ 移動手段別の第1回意見聴取結果の妥当性は、公共交通利用者で「妥当だと思う」と回答した割合が他の移動手段に比べると低い。
- ◆ 利用目的別の第1回意見聴取結果の妥当性は、通勤・通学で「妥当だと思う」と回答した人の割合が他の利用目的に比べて高い。

【移動手段別妥当性】



【利用目的別妥当性】

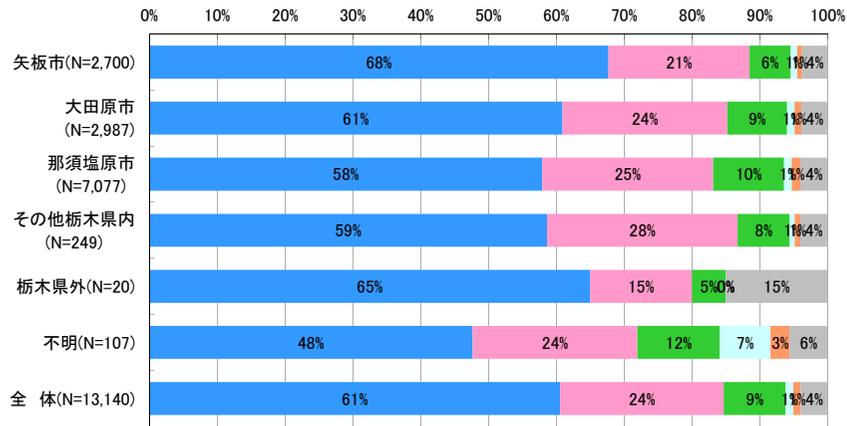


※Nは各項目の回答者数。割合は各項目の総回答数に占める割合。

住民等 結果の妥当性(地域別/年齢別/利用頻度別)

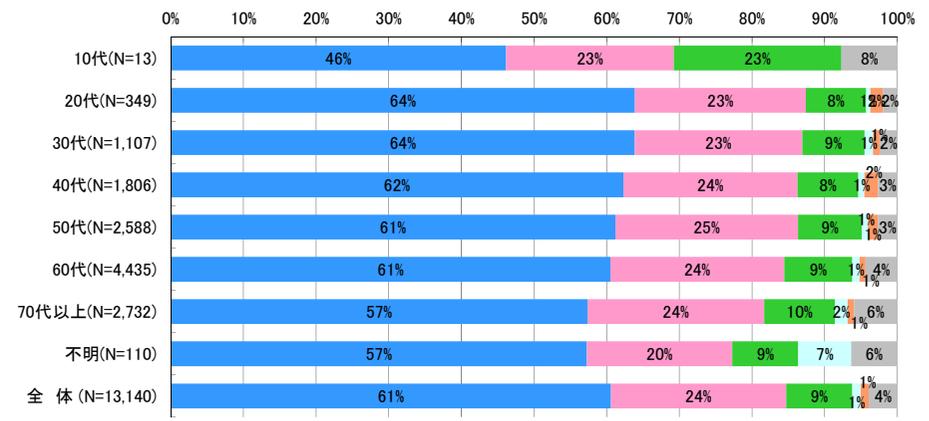
- ◆ 地域別妥当性では、矢板市・大田原市の方が那須塩原市よりも「妥当だと思う」と回答した割合が高い傾向にある。
- ◆ 年齢別妥当性では、年代が若いほど「妥当だと思う」と回答した割合が高い。
- ◆ 利用頻度別妥当性では、利用頻度が高い利用者ほど「妥当だと思う」と回答した割合が高い。

【地域別妥当性】



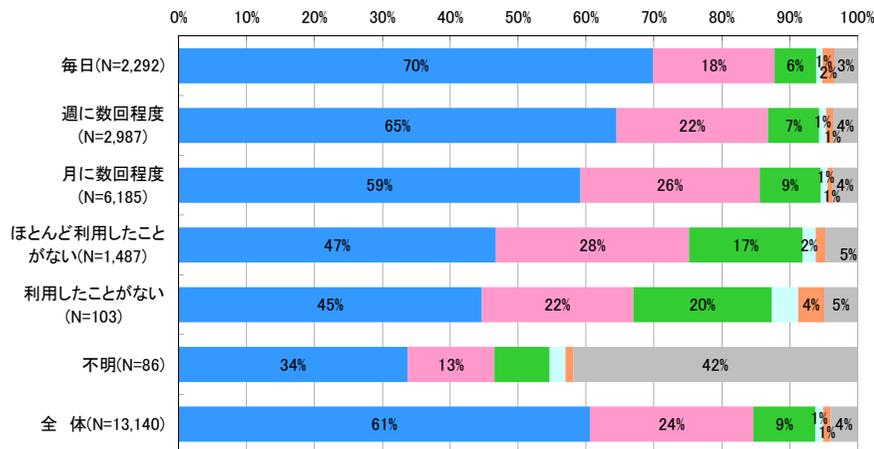
■ 妥当だと思う ■ どちらかと言うと妥当だと思う ■ どちらとも言えない ■ どちらかと言うと妥当だと思わない ■ 妥当だと思わない ■ 無回答

【年齢別妥当性】



■ 妥当だと思う ■ どちらかと言うと妥当だと思う ■ どちらとも言えない ■ どちらかと言うと妥当だと思わない ■ 妥当だと思わない ■ 無回答

【利用頻度別妥当性】

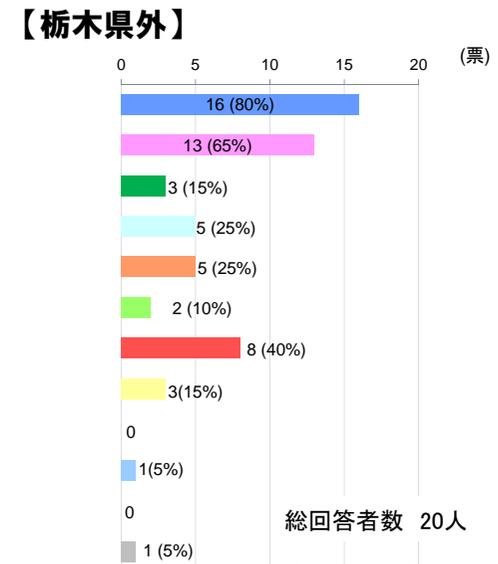
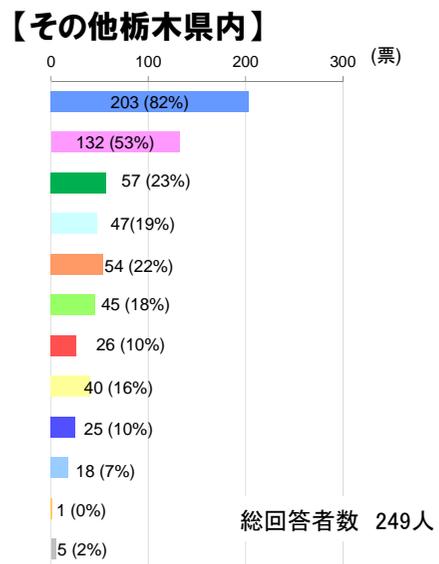
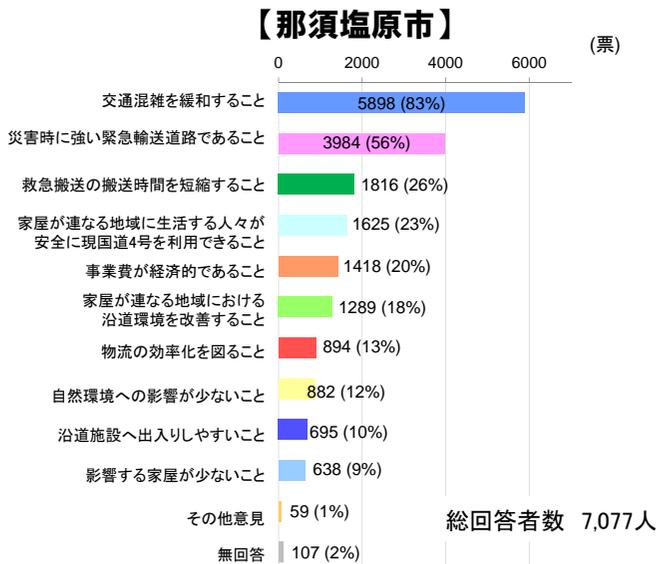
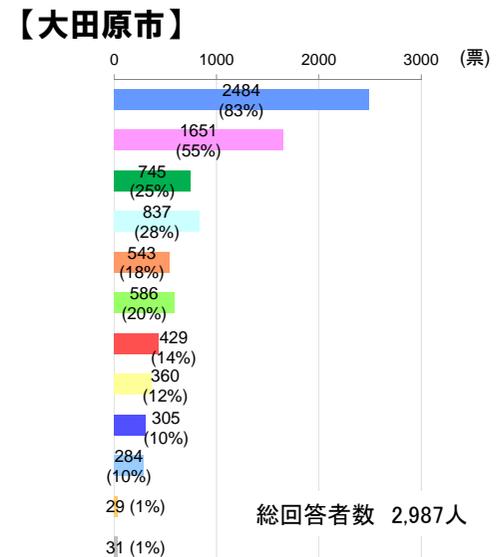
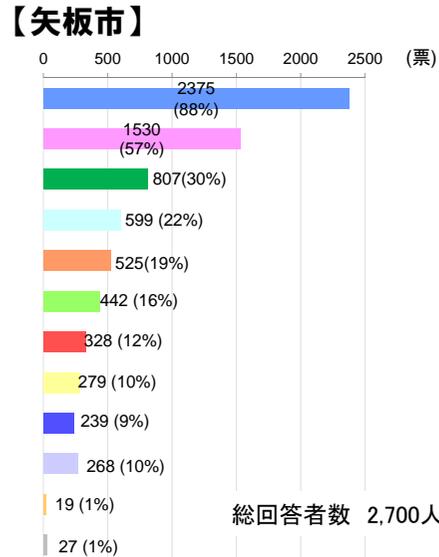
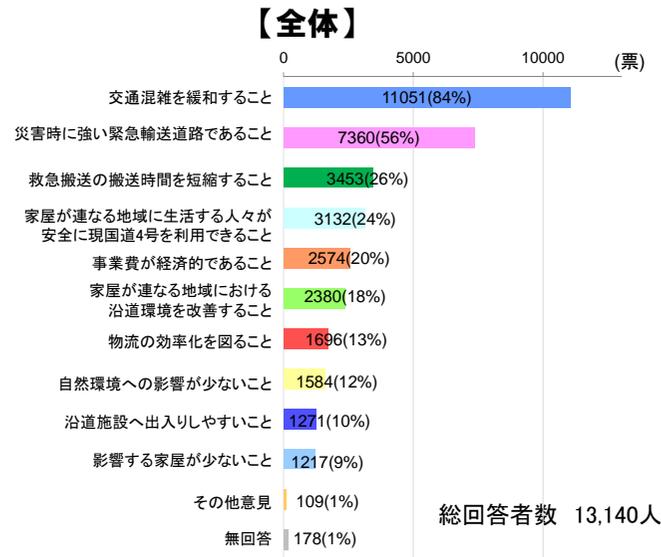


■ 妥当だと思う ■ どちらかと言うと妥当だと思う ■ どちらとも言えない ■ どちらかと言うと妥当だと思わない ■ 妥当だと思わない ■ 無回答

※Nは各項目の回答者数。割合は各項目の総回答数に占める割合。

住民等 重視すべき事項(地域別)

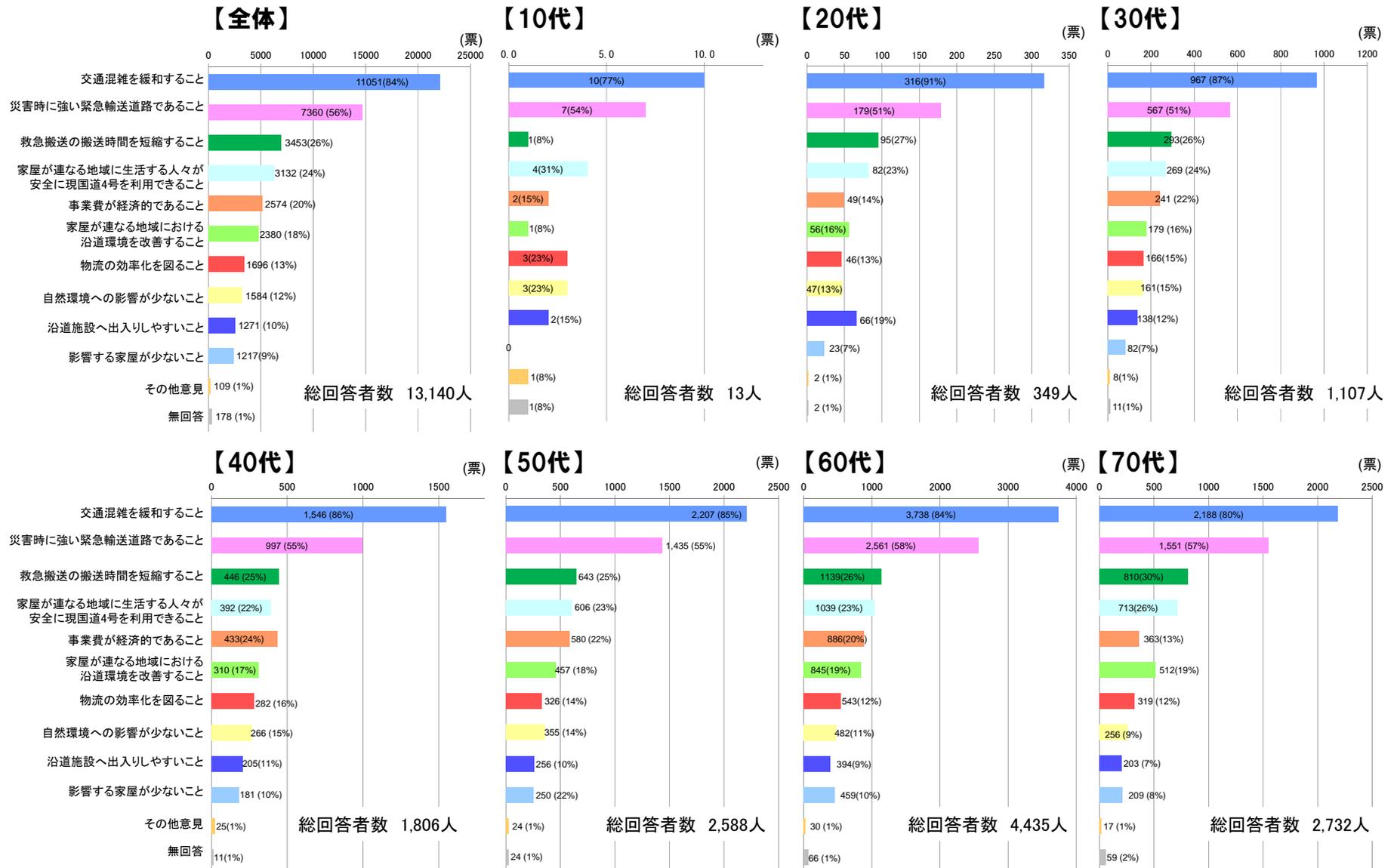
◆矢板市では「救急搬送の搬送時間を短縮すること」、大田原市では「家屋が連なる地域に生活する人々が安全に現国道4号を利用できる」を重視すべきとの認識が比較的高めである。



※割合は総回答者数に対する割合。

住民等 重視すべき事項(年齢別)

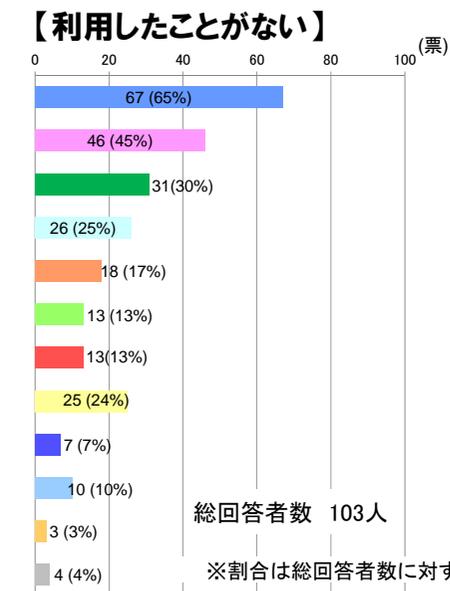
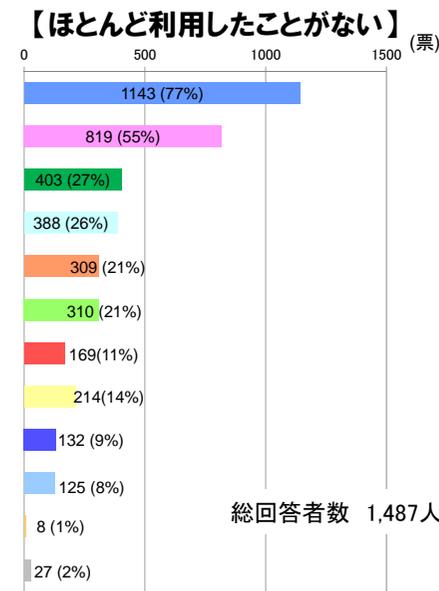
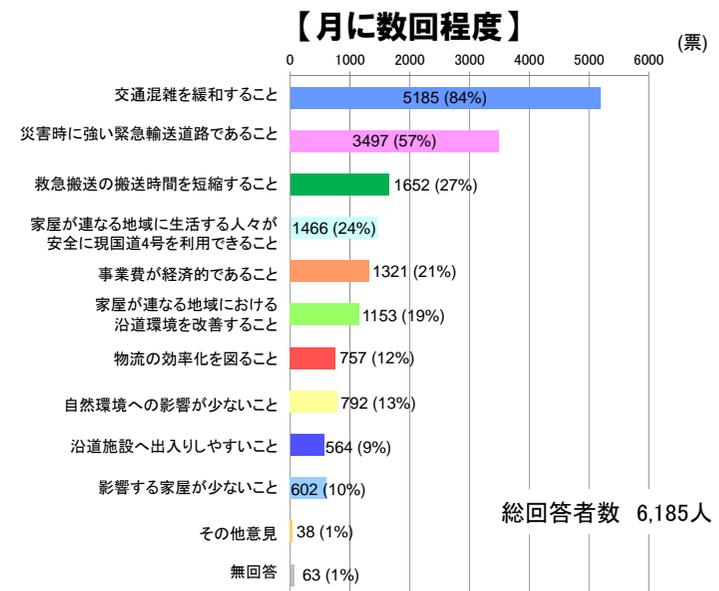
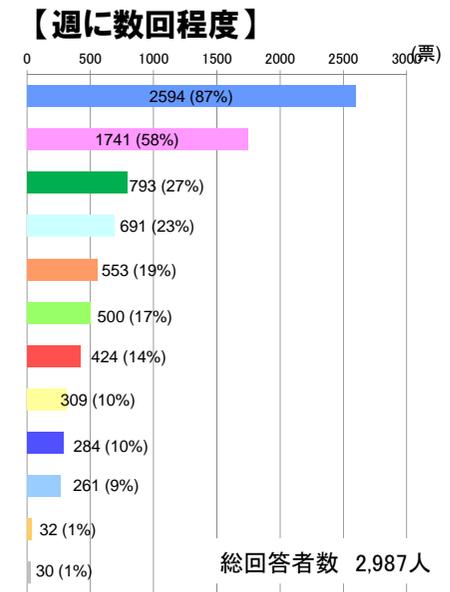
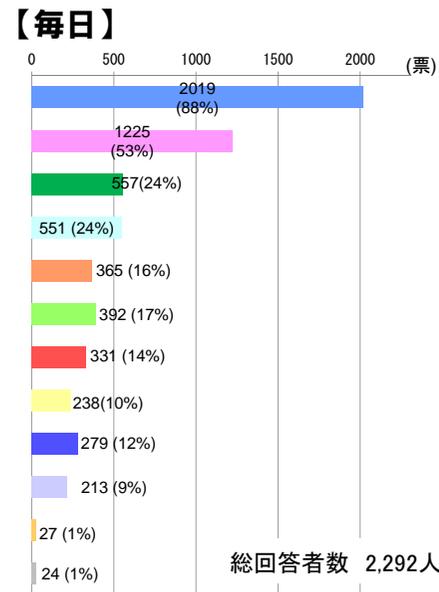
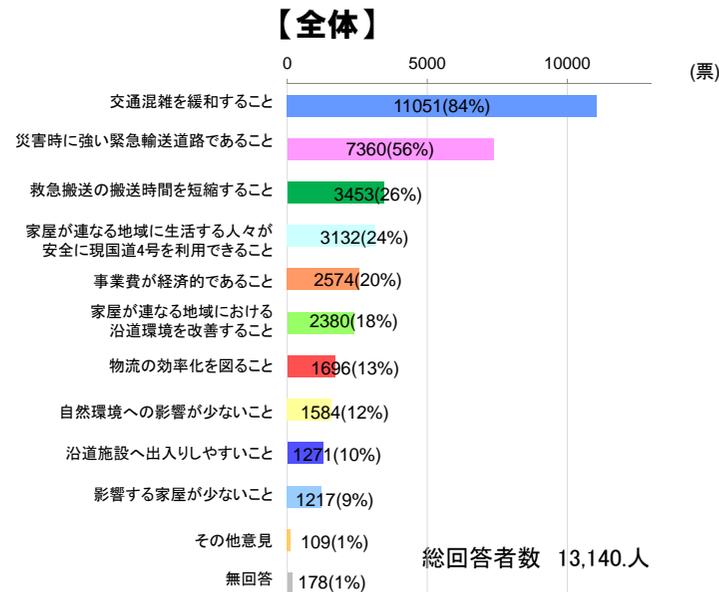
◆ どの年代においても、ルートを選ぶ際の重視項目に大きな違いはみれない。



※割合は総回答者数に対する割合。

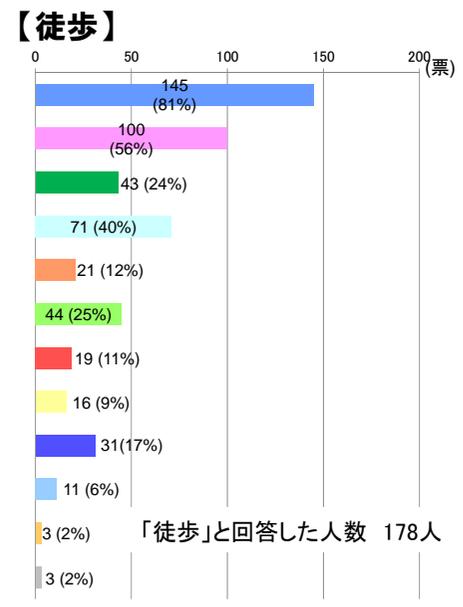
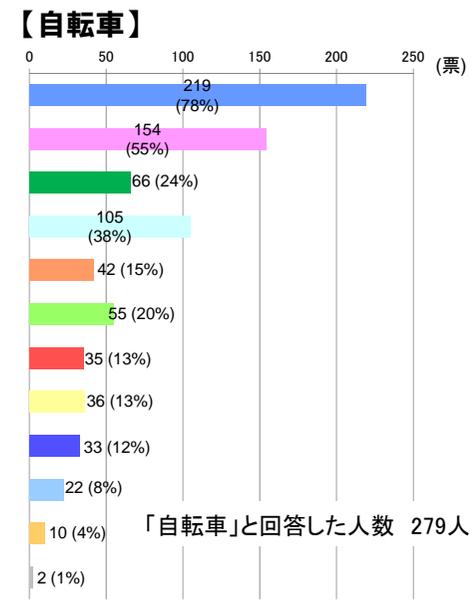
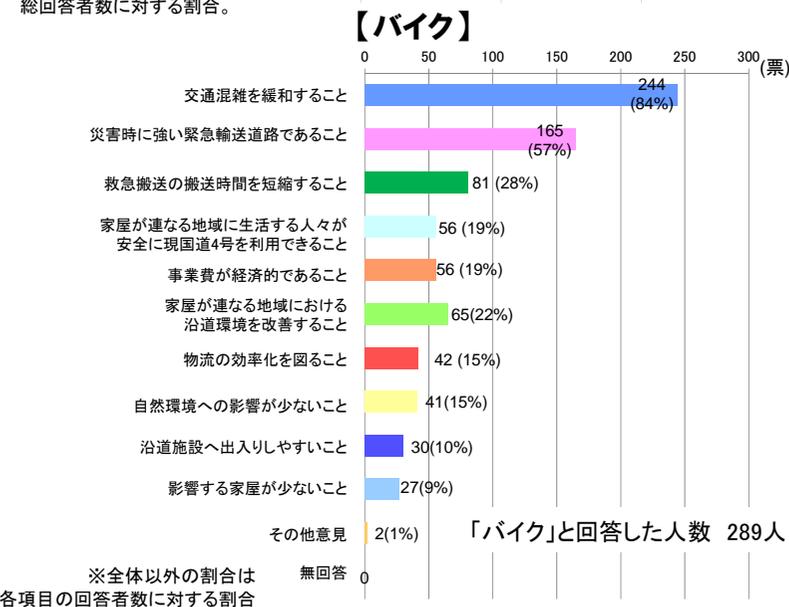
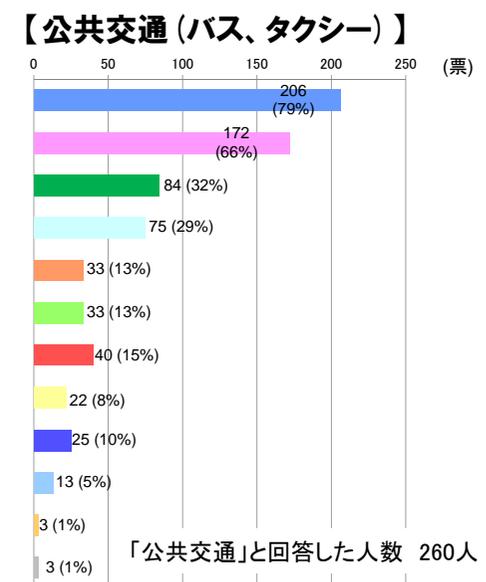
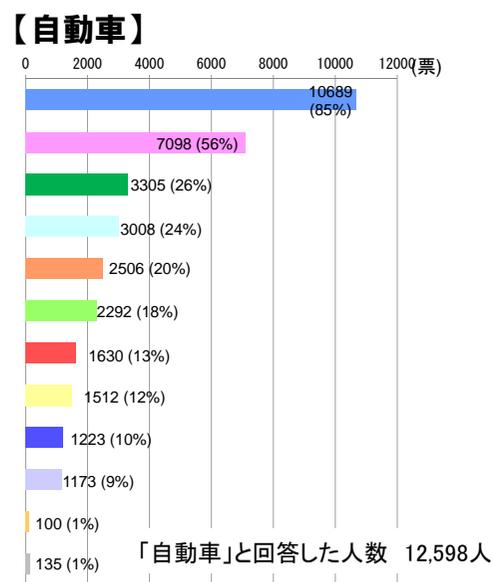
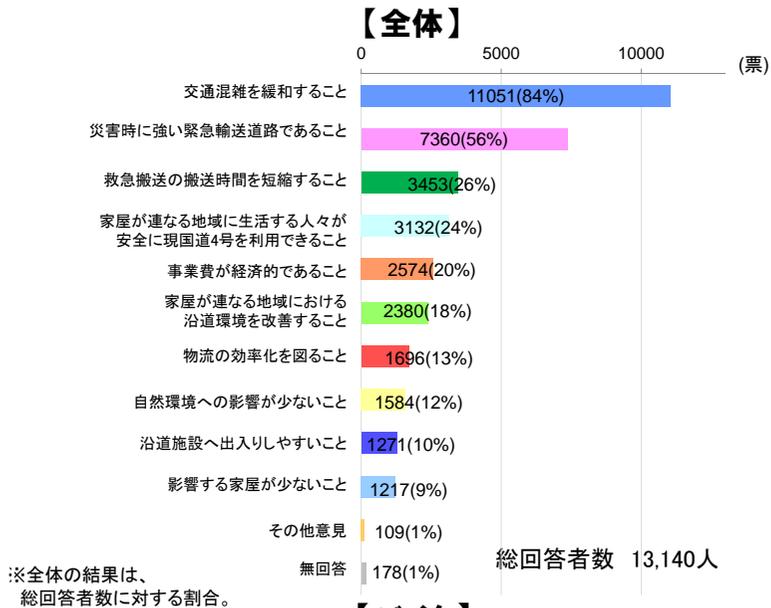
住民等 重視すべき事項(利用頻度別)

◆ 毎日、週に数回程度の利用者は、利用したことがない/ほとんどない人に比べて、「交通混雑を緩和する」ことを重視している。



住民等 重視すべき事項(移動手段別)

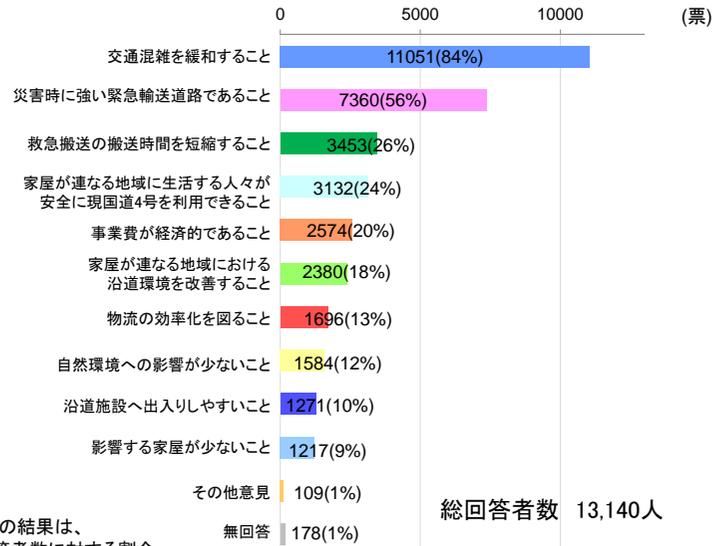
◆ 移動手段で「公共交通」と回答した人では「災害時に強い緊急輸送道路であること」を重視し、「自転車」「徒歩」と回答した人では「家屋が連なる地域における沿道環境を改善すること」を重視する傾向が他の移動手段よりも強い傾向にある。



住民等 重視すべき事項(目的別)

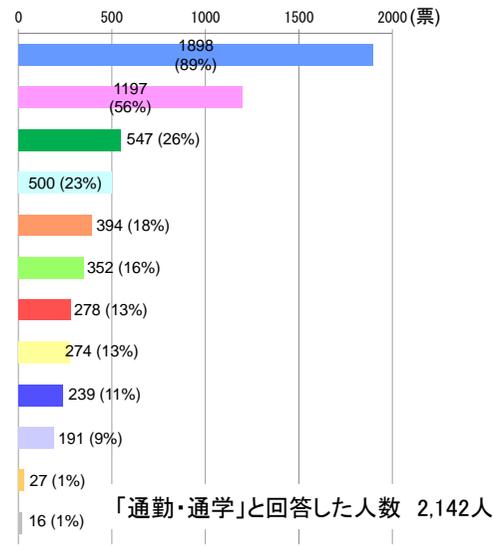
◆ 目的別で、ルートを選ぶ際に重視すべき事項に大きな違いはみられない。

【全体】

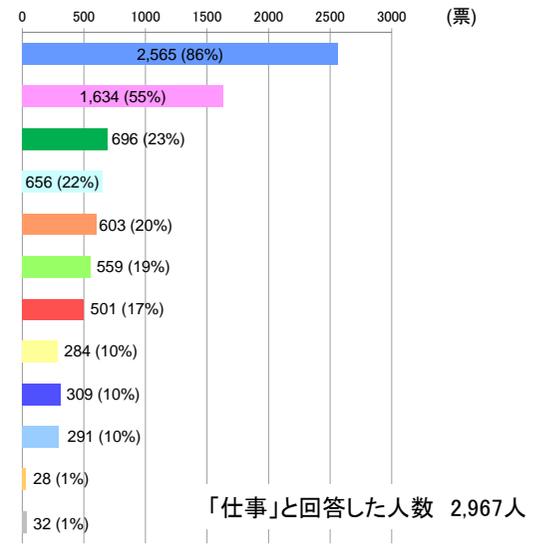


※全体の結果は、総回答者数に対する割合。

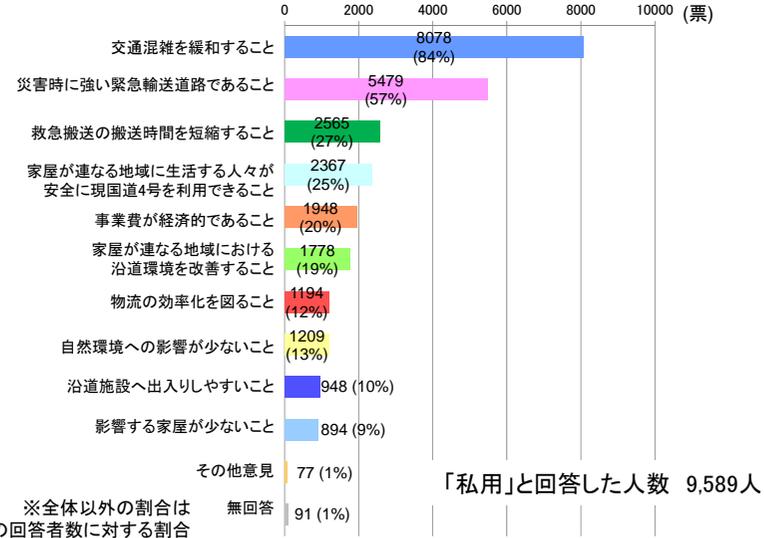
【通勤・通学】



【仕事(営業・運送など)】



【私用(日常的な買い物・食事など)】



※全体以外の割合は各項目の回答者数に対する割合

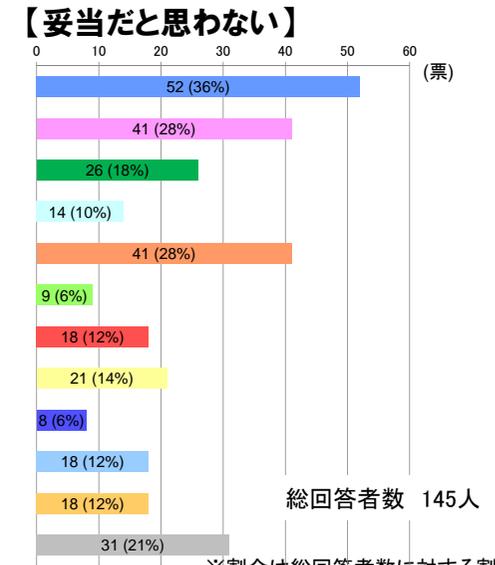
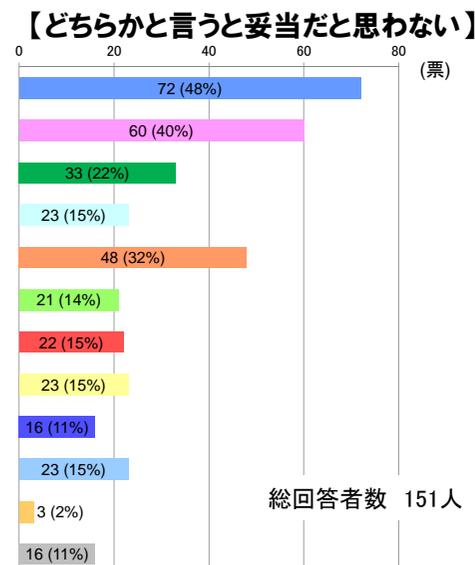
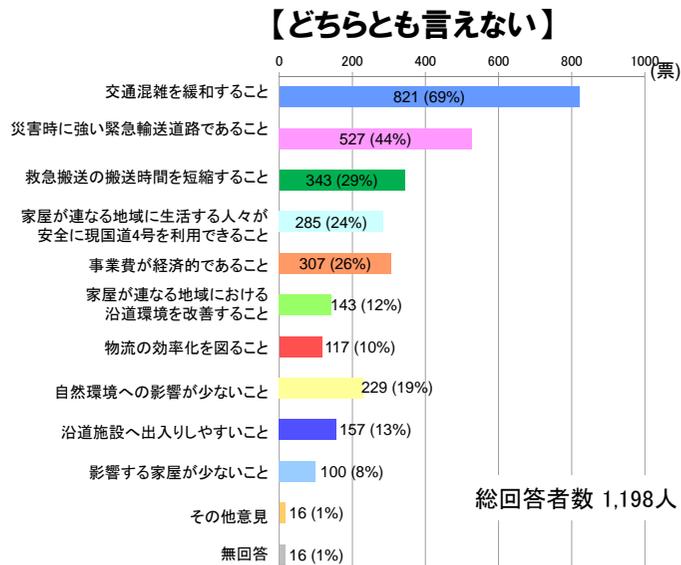
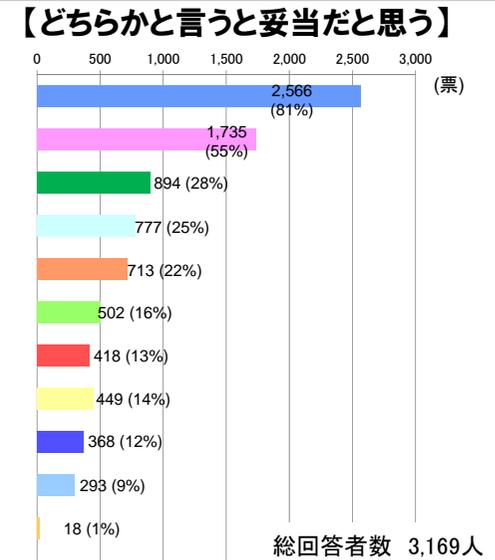
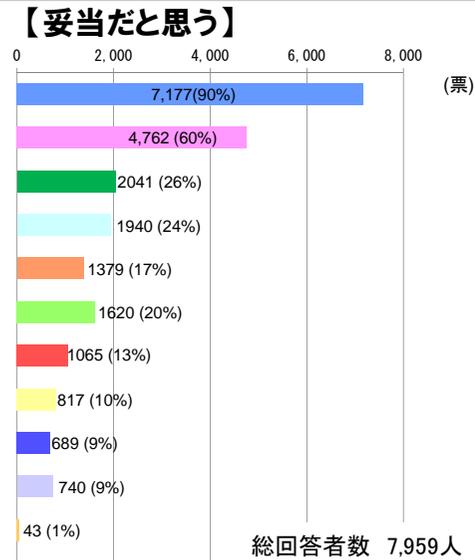
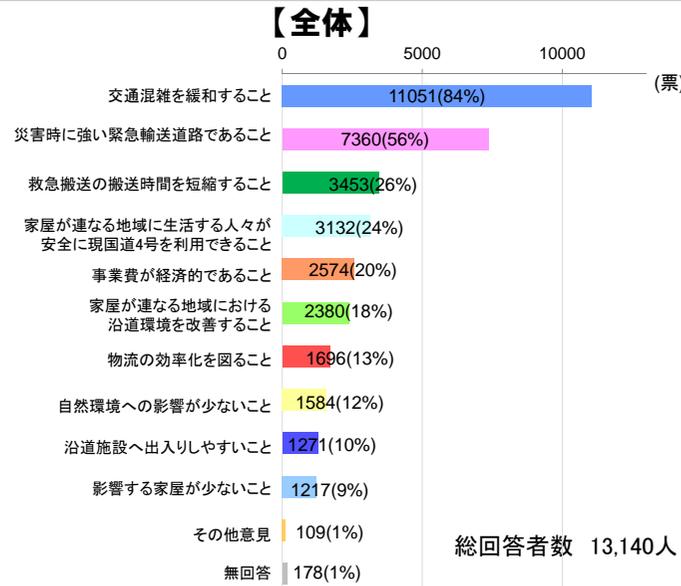
【その他】



住民等 重視すべき事項(妥当性別)

◆「妥当だと思う/どちらかと言うと妥当だと思う」と回答した人で「災害時に強い緊急輸送道路であること」を選択した人の割合は、「妥当だと思わない」と選択した人に比べて高い。

◆「妥当だと思わない」と回答した人で、「自然環境への影響が少ないこと」と回答した人の割合は「妥当だと思う」人と比べ高い。



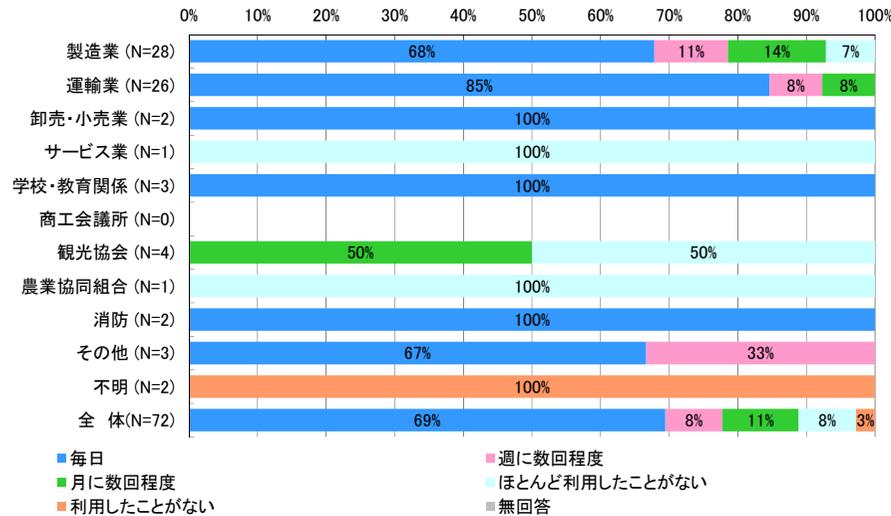
※割合は総回答者数に対する割合。

参考2. クロス集計結果【関係団体】

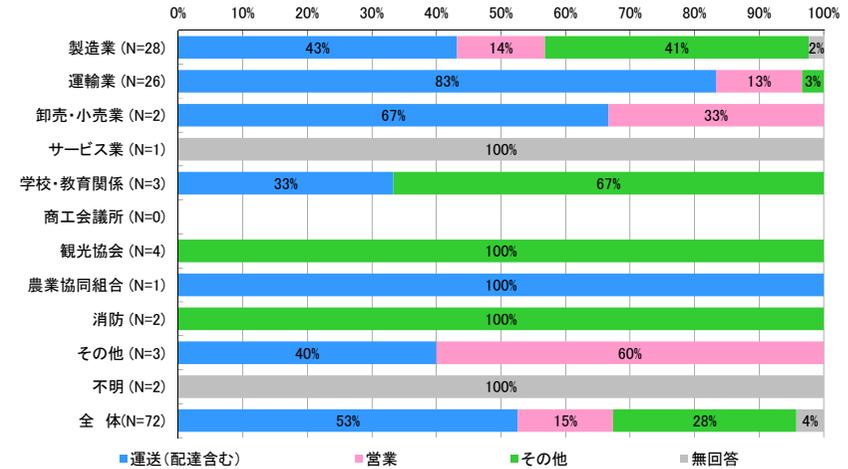
関係団体 利用頻度／利用目的／妥当性／第1回地域意見聴取結果(業種別) 18

- ◆ 業種別利用頻度では、製造業の68%、運輸業の85%が「毎日」利用している。
- ◆ 業種別利用目的では、製造業と運輸業ともに運送目的が最も高い。
- ◆ 業種別妥当性では、製造業・運輸業ともに「妥当だと思う／どちらかと言えば妥当だと思う」の合計が93%と96%と高かった。
- ◆ 業種別第1回地域意見聴取結果では、運輸業で第1回意見聴取に回答した人の割合が製造業に比べて低い。

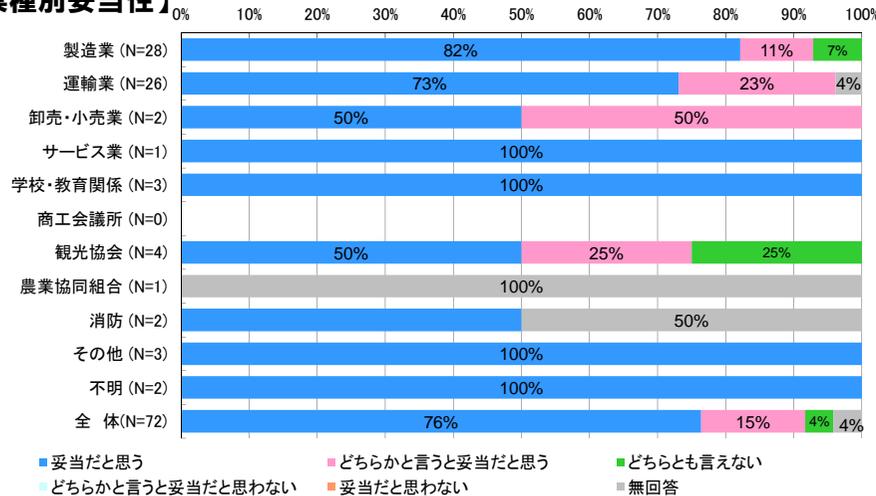
【業種別利用頻度】



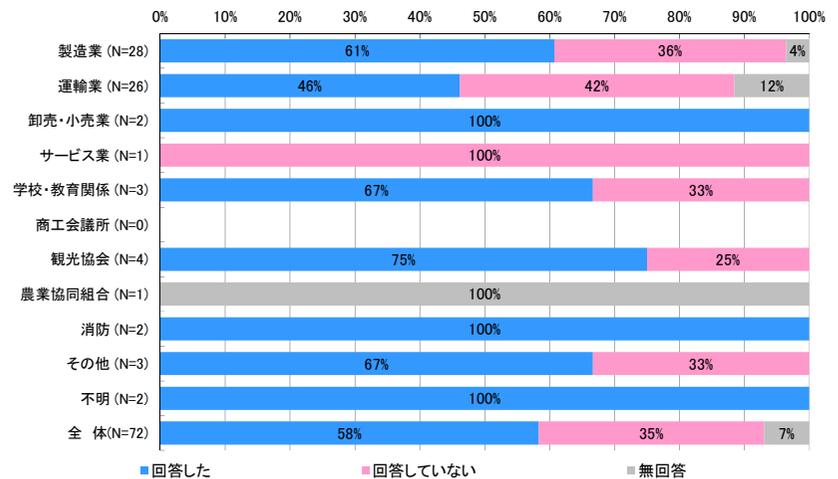
【業種別利用目的】



【業種別妥当性】



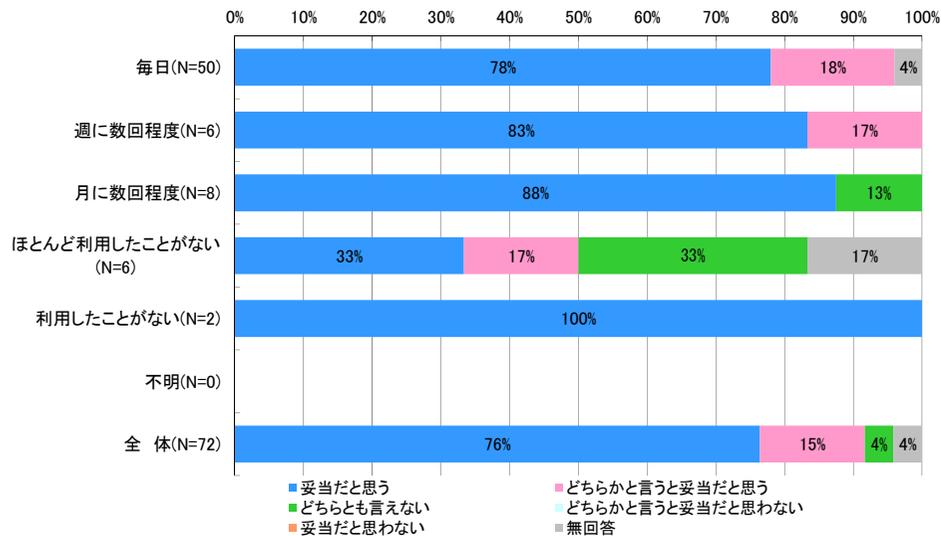
【業種別第1回地域意見聴取結果】



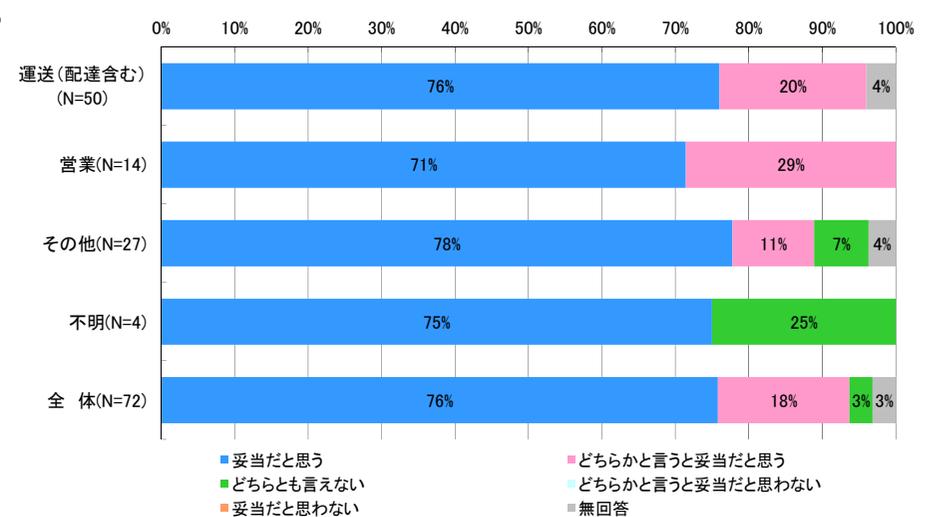
※Nは各項目の回答者数。割合は各項目の総回答数に占める割合

- ◆ 利用頻度別妥当性では、「毎日」利用すると回答した人で、「妥当だと思う/どちらかと言えば妥当だと思う」と回答した人の割合は96%、「週に数回程度」では100%、「月に数回程度」では88%と高かった。
- ◆ 利用目的別妥当性では、運送、営業目的でそれぞれに「妥当だと思う/どちらかと言えば妥当だと思う」割合は96%、100%と高い。
- ◆ 第1回意見聴取結果別妥当性では、第1回意見聴取に回答した人ほど「妥当だと思う」傾向がある。

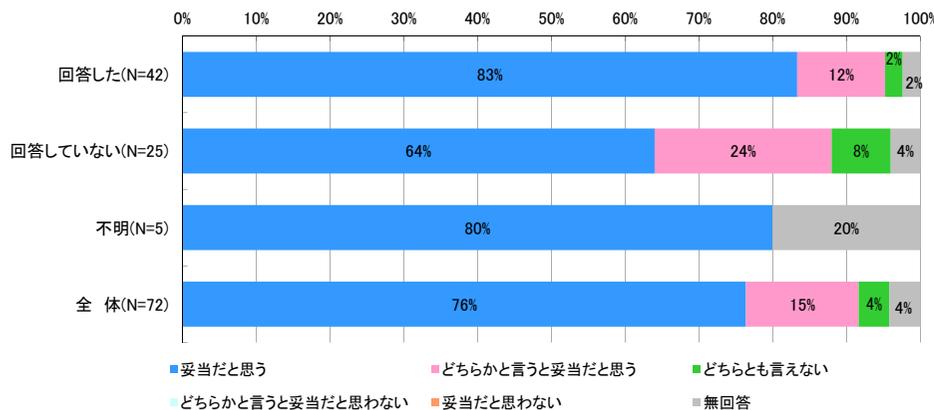
【利用頻度別妥当性】



【利用目的別妥当性】



【第1回意見聴取結果別 妥当性】



※Nは各項目の回答者数。割合は各項目の総回答数に占める割合。